

令和2年度 障がい者福祉活動サポート交付金【社会参加活動】 交付決定事業者等一覧

■ 交付限度額：100,000円

	法人名	事業者名等	活動内容	交付申請額
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(福)三条市手をつなぐ育成会</li> <li>・(福)ひめさゆり福祉会</li> <li>・(福)青空福祉会</li> </ul>	グッデイいきいきサポートセンターまつり実行委員会	<p><b>令和2年度グッデイいきいきサポートセンターまつり</b></p> <p>実施予定：令和2年10月17日(土)(8回目)</p> <p>3法人で共催することで、より多くの地域住民を呼び込み、障がい者と健常者が垣根なく楽しみ、交流を図ることを目的として開催する。(目標来場者数 2,000人)</p> <p>今年度は、新たに近隣学校の吹奏楽部へ出演を依頼するとともに、社会福祉協議会よりスポーツ関連のブースを用意してもらう予定となっている。これにより、各法人をより身近に感じるとともに、障がい者福祉への関心を高められる。</p> <p>事業所の利用者が実行委員や係となり、計画・準備・販売を主体的に行うことで、地域住民との交流を図り社会経験を積み今後の活動や生活のスキルアップにつながる。</p> <p>3法人が役割を分担しながら、模擬店、イベント、遊びの広場、事業所紹介のパネル展示、来場者プレゼント、済生会三条病院健康相談等を行う。</p> <p>ポスター、チラシ、イベント出演者への謝礼金、模擬店に係る消耗品費等に活用する。</p>	<p><b>275,000円</b></p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すてっぷ 100,000円</li> <li>・らいふ・すていしょん 75,000円</li> <li>・青空地域生活支援センター 100,000円</li> </ul>
2	(福)県央福祉会	いからしの里・いからし工房	<p><b>いからしの里・いからし工房合同ふれあい感謝祭(仮称)</b></p> <p>実施予定：令和2年11月3日(火)(5回目)</p> <p>地域住民をはじめ、ボランティア等へ感謝の気持ちを伝えるとともに、地域住民と施設利用者との交流を深める機会とする。また、2つの施設が合同で行うことで、多くの来場者(近隣の保育所・園等へ広告等を配布)を呼び込み、2つの施設の利用者や保護者の相互の交流も図ることができる。</p> <p>(目標来場者 450人)</p> <p>施設利用者によるステージ発表、近隣保育園児による遊戯発表、模擬店、自主製品・野菜販売、活動紹介のパネル展示、子供ゲームコーナー等を行う。</p> <p>ポスター等作成費、模擬店等に係る消耗品費、活動紹介用の写真パネル作成費等に活用する。</p>	<p><b>200,000円</b></p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いからしの里 100,000円</li> <li>・いからし工房 100,000円</li> </ul>

	法人名	事業者名等	活動内容		交付申請額
3	(福) 県央福祉会	・長久の家 ・地域活動支援センター 一長久	<b>花いっぱい活動</b> 実施予定：令和2年4月～令和3年3月（8回目）	グループホームや地域活動支援センターの利用者が、地域住民及びボランティアの方と一緒にプランターへ花苗の植え付け作業をしたり、公園や駅、店舗等へプランターを設置し、継続的に手入れをしていくことで、多くの方から花を楽しんでもらう。また、日々の水やりや手入れ、清掃活動などを継続することで、障がい者自身が社会参加、社会貢献の意識を持つことができる。 障がい者居住支援拠点施設の花壇「のぞみガーデン」の花植え活動を継続して行うことで施設への理解を深めてもらい施設の春の行事として定着することを目的とする。（利用者参加目標 35 人、地域住民参加目標 35 人） プランター、培養土、花の苗等の購入費、参加賞等に活用する。	<b>190,000 円</b> (内訳) ・長久の家 100,000 円 ・地域活動支援センター 長久 90,000 円
4	(福) 県央福祉会	杉の子工房	<b>収穫祭</b> 実施予定：令和2年10月中旬（8回目）	ポスター掲示等で開催を周知し、地域住民と事業所の利用者が交流できる大切な機会としている。年々来場者も増え、秋の地域行事として定着してきた。農耕作業で栽培したさつまいもを使用した自主製品（事業所紹介のチラシを添付）を配布し、事業所の活動内容を知ってもらい、障がい者への理解を深めてもらう。さくら事業所の移転により単独開催となるが、地域住民に気軽に足を運んでいただくようチラシを近隣各戸に配布するなど周知を図る。（昨年度来場者 400 人、売上約 21 万）目標来場者数 400 人、売上目標 22 万 商品紹介の作成費、模擬店等に係る経費等に活用する。	<b>100,000 円</b>
5	(福) 青空福祉会	相談支援センター青空	<b>第 11 回精神保健福祉フォーラム</b> 実施予定：令和2年10月31日（土）（7回目）	全市民を対象に、精神疾患（統合失調症等）当事者でピアサポーターとして活動している方達から、体験談を踏まえ病気と向き合いながら社会生活を送ることについて講演していただく。午後は精神障がいを抱える利用者発表を通して、様々な立場からディスカッションし、障がい者の持つ強みや良さを知ってもらう。 精神障がいに対する偏見や差別の解消に繋げ、精神障がいを抱える人達が進行係や受付係等に携わることで、本人達の達成感を得る。また、発表に出演することで自信を持って生きていくことへの底力となる。（目標来場者 200	<b>200,000 円</b> ※本活動は、精神障がい啓発活動に関するものであることから上限 200,000 円

	法人名	事業者名等	活動内容	交付申請額
			人) ポスター及びチラシ作成費、当日資料に係る消耗品費、講師謝礼金、会場 使用料等に活用する。	
交付申請事業者（社会参加活動） 9 事業者				総額 965,000 円

令和2年度 障がい者福祉活動サポート交付金【自立支援活動】交付決定事業者等一覧

■交付限度額：500,000円

	法人名	事業者名等	活動内容	交付申請額	
1	(福)県央福祉会	いからし工房	インターネット販売導入による生産量拡大に向けて、椎茸菌床栽培を行うビニールハウスの増設及び販売への取り組み 実施予定：令和2年4月1日～令和2年3月31日	平成27年度から「椎茸菌床栽培・販売」に取り組み利用者の工賃アップをすることができた。今後さらに工賃アップや利用者の作業意欲を高めることを目的に、販路の拡大としてインターネット販売を導入する。地域の方だけでなく全国の方に私たちの商品を展開させていく事で、いからし工房のアピールだけでなく、障がい福祉サービスへの興味関心へとつなげられる。 ビニールハウス増設における造成工事費、椎茸加工販売費に活用する。	500,000円
2	(福)県央福祉会	杉の子工房	菓子製造販売による工賃向上 実施予定：令和2年4月1日～令和3年3月31日	農耕で栽培したさつまいもを使った菓子製造を開始し、順調に売り上げを伸ばしている。令和2年4月から食品の栄養成分表示が義務化され、個包装のパッケージに多くの情報を表示しなければならず、ラベルプリンターの導入が必要となった。また、常設販売所であった「すまいる本町」が閉店したため、新たな販路を開拓し、新製品の開発や冷蔵販売に対応した冷蔵ショーケースの利用によりバザーでの販売を可能にして売上の向上を目指す。 (令和元年度売上90万) 売上目標100万 ラベルプリンター、新製品製造用の器具、冷蔵ショーケースの購入に活用する。	500,000円
3	(福)青空福祉会	きずな工房	新商品開発及び販路拡大に向けてコンサルティング	新施設での製菓製造、食品加工等の商品の開発及び販路拡大、喫茶事業についてコンサルティングを受けて、工賃アップを図る。	500,000円

	法人名	事業者名等	活動内容	交付申請額
			ングを受け工賃 アップを図る 実施予定：令和2 年4月1日～令 和3年3月31日	コンサルティング費用に活用する。
交付申請事業者（自立支援活動） 3事業者 総額 1,500,000円				